

MITSUBISHI

0510874HA0902

給気ユニット〔壁取付専用〕

形名
P-13WBQU
P-13WXQU

取付工事・取扱説明書

形名によって取扱いが異なりますので、予めご使用の形名をご確認ください。



形名表示位置

- 取付工事を始める前に、説明書をよくお読みになり正しく安全に取付けてください。
- 取付工事は販売店・工事店さまが実施してください。

取付工事終了後は、必ずこの説明書をお客さまにお渡しください。

ご使用の前に説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
なお、お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに保管してください。

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で説明しています。



誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの



指示に従い必ず行う

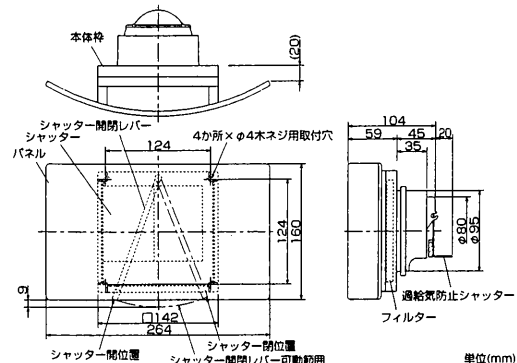
- 取付けは、確実に（落下によりけがをすることがあります）
- 取付けやお手入れの際は、手袋を着用する（着用しないとけがをすることがあります）

取付け前のお願い

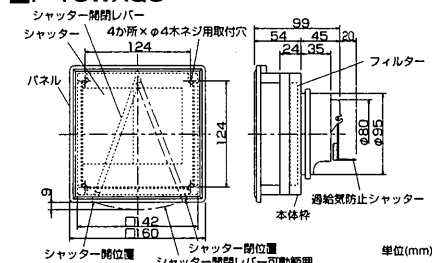
- この製品は排気による自然給気口として、住宅の居住室内の壁面に取付けます。それ以外の場所には取付けしないでください。
- この製品は、フィルター付ですので、フィルターのメンテナンスの可能な場所に取付けてください。
- 下記環境下で使用しますとシャッター表面から結露水が滴下することがあります。
(室外温度が-5℃を下回り、かつ室内温度20℃・室内湿度50%以上)
- 寒冷地区(次世代省エネ基準のⅠ、Ⅱ地区)では使用しないでください。
- 高温(50℃以上)になる場所には取付けしないでください。
- 火気に近い場所や油煙の多い場所には取付けしないでください。
- シャッター開閉レバーの可動範囲に他の部材を設置しないでください。
- 側面に通気開口部があるため、壁・天井に近い部分が汚れる場合があります。
- 外気の取り入れは燃焼ガスなどを吸い込まない位置を選んでください。
- フィルターが設置されていますが、小さな虫は侵入する場合がありますので、屋外側の外灯などから離れた場所を選んで取付けてください。
- 屋外側には深形フードを使用してください。また、取付場所に合ったフードの選定をおすすめします。

外形寸法図

■P-13WBQU



■P-13WXQU



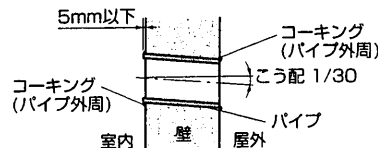
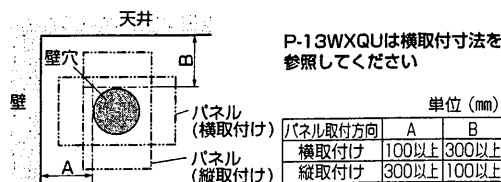
■付属部品

- パッキン (厚さ約5mm)……1本
- 木ネジ……………4本
- 塩化ビニル管…φ100(4番管)
- 鋼板管……………φ100
- 別売のパイプスリーブ (P-13PSP)

■適用パイプ

取付方法

1. 取付前の準備



壁穴へのパイプの固定

- 1.取付け場所を決めて穴をあける。
 - 壁厚に応じてパイプの長さを決めてください。
 - パネルの取付方向により、壁穴位置が異なります。

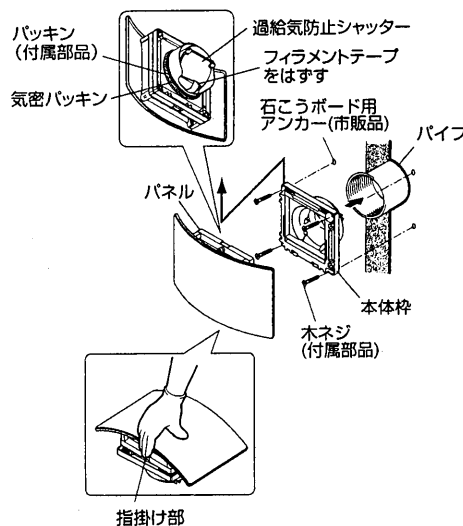
2.壁穴にパイプを確実に固定する。

- パイプと壁のすき間はコーキング処理をします。
- 固定が不十分ですと振動したり異常音が発生する原因になります。
 - 壁内への雨水浸入を防止するためパイプは室内壁面まで差し込みます。

お願い

- パイプは雨水の浸入を防ぐため屋外側に下りこう配をつけ、固定してください。
- 室内側のパイプ端面は、壁面より5mm以上出ないように施工してください。

2. 本体の取付け



1. 過給気防止シャッターを止めているフィラメントテープをはずす。
2. パネルの指掛け部に指を掛け、手前に引いて引掛け部を上側にずらしてパネルをはずす。

お願い

- パネルの取りはずしは指掛け部で行ってください。(パネルの一部がはずれて落下する場合があります)

3. 図のように付属の木ネジ(4本)で確実に固定する。

お願い

- 垂直な壁面に取付け、過給気防止シャッターが円滑に動く状態で取付けてください。
- 施工パイプがVU管の場合、付属のパッキン(5mm)を気密パッキンの上に巻き付けてください。
- 製品が水平ではない場合、取付ネジをゆるめて傾きを調整してください。
- 石こうボードに固定する場合、石こうボード用アンカー(市販品)を使用して取付けてください。

4. パネルを本体枠に確実に取付ける。

お願い

- 汚れ、傷付き防止のため、透明パネルの保護シートはお客さまへ引き渡す直前にはがしてください。(P-13WXQUのみ)

5. 屋外側にフードを取付ける。

お願い

- 雨水浸入防止のため深形フードをご使用ください。
- 風雨が強く下から吹き上げがある場合は耐外風高性能フードの選定をおすすめします。
- 外の騒音が大きい場所では防音フードの選定をおすすめします。

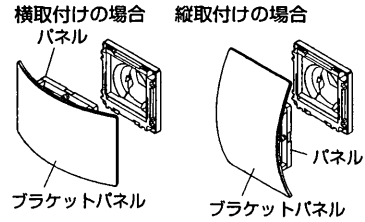
P-13WBQU：パネルの取付方向を変更する場合

パネルは縦・横自在に取付けることができます。
パネルを本体枠からはずして取付方向を変更する。

- ブラケットパネルとパネルは取りははずすことができません。
- 取付け、取りははずしは「2.本体の取付け」を参照ください。

お願い

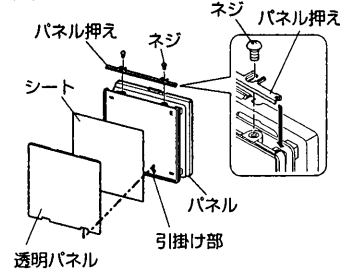
- ブラケットパネル部には無理な力を加えないでください。
(ブラケットパネルがはずれて落下する場合があります)



P-13WXQU：パネルのシートを着せ替える場合

フラット面にお好みのクロスまたは写真等を着せ替えることができます。

- ①右図のようにネジ2本をゆるめ、パネル押えを図のようにはずす。
- ②透明パネルをはずし、シートを取り出す。
- ③お気に入りの写真に差し替えるか、クロス(□152~153mm)等をはさみ、図のように引掛け部を合わせて透明パネルで押さえる。
●クロスの厚みは1mmまでとしてください。
●クロスの厚みが1mm以上の場合は、透明パネルをはずし、クロスを直接パネルに両面テープ等で貼り付けてください。
- ④パネル押えを元通り取付ける。

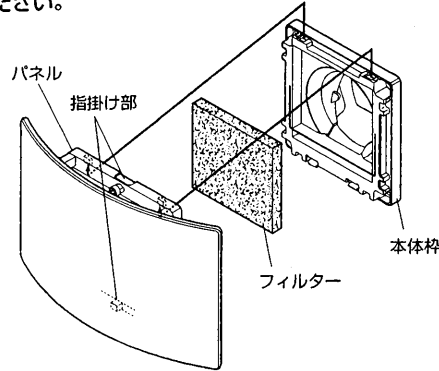


お願い

- 着せ替え作業は本体からパネルをはずした状態で行ってください。
- ネジは必ず手で締めてください。電動工具等は使用しないでください。
強く締めるとパネル押えが変形するおそれがあります。
- シートは濡らさないでください。
- 透明パネルにヒビ・カケ等がある場合は透明パネルは使用しないでください。
- 透明パネルを無理に取付けしないでください。

お手入れ

フィルターにほこりが付着しますと風量低下などの原因になりますので、約2か月に1回を目安に清掃してください。

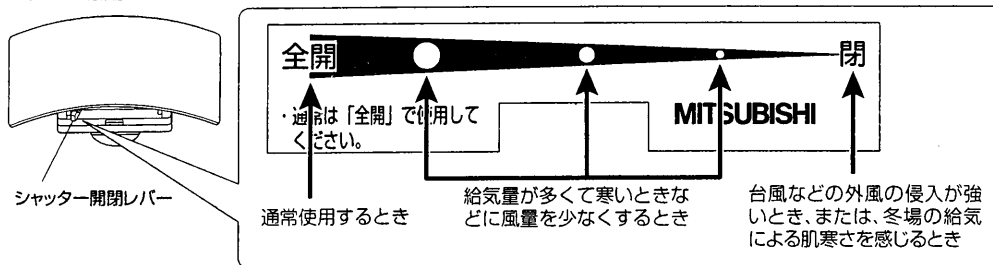


1. パネルをはずす。
●パネルの指掛け部に指を掛け、手前に引いて引掛け部を上側にずらしてはずします。
2. 本体枠の内側からフィルターを取り出す。
3. フィルターの清掃 (フィルターは再生タイプです)
●軽く手でたたくかまたは、掃除機で吸い取ります。
汚れのひどい場合は、水またはぬるま湯(40℃以下)に中性洗剤を溶かして押し洗いをし、よく乾かします。
熱湯で洗ったり、もみ洗いはしないでください。
フィルターは、水洗い5~6回を目安に別売の交換用フィルター (P-06JF) と交換してください。
4. パネルの汚れは、薄めた中性洗剤を浸した布で汚れをふき取り、洗剤が残らないよう乾いた布でよくふき取る。
5. フィルター・パネルを元通り取付ける。

お願い

- フィルターをはずす際に虫やほこりが落下する場合がありますのでご注意ください。
- フィルターを入れ忘れると壁や天井が汚れる原因となりますので、フィルターを入れ忘れないようにしてください。
- お手入れに下記の溶剤等を使用しないでください。
シンナー・アルコール・ベンジン・ガソリン・灯油・スプレー・アルカリ洗剤・化学ぞうきんの薬剤・クレンザー等
けんま材入の洗剤 (変質・変色する原因になります)

使用方法



シャッターの開口寸法(面積)は、「全開・閉」以外に3段階の調節ができます。調節する際は、上記を参照してください。

お願い

- この給気ユニットは、通常「全開」状態で使用しますが、台風など外風の侵入がはげしいときはパネル下部のシャッター開閉レバーをスライドさせて「閉」にします。
その後必ず「全開」状態にすることを忘れないでください。
- グリル表面は使用環境条件により結露が発生し、グリル表面に水滴が付いたり滴下する場合がありますので結露による水滴を拭き取ってください。

三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号 電話 0573-66-2111

この説明書は、再生紙を使用しています。